

今秋「派兵阻止決戦」の大爆発めざして！

学生会中央執行委員会

全ての明治大学の学友諸君に学生会中央執行委員会よりアピールを送っていききたいと思います。

まず我々のこの間の闘いの報告から行うならば、我々は72年沖縄返還をめぐる敵権力との非妥協的攻防戦を4・28「沖縄デー」を突破口として全力を賭して闘い抜いてきました。とりわけ我々が死力を尽して闘い抜いてきました。とりわけ我々が死力を尽して闘い抜いた5・13神田武装遊撃戦は、現在日本階級戦線の混迷、停滞せる中において諸潮流の沖縄階級戦線からの逃亡、召還を尻目に、断固として「返還粉碎！派兵阻止！」を実現したものとして全人民プロレタリアートの前に一条の光を呈示しえたものと確信しています。更に我々はこの5・13神田武装遊撃戦によって切り拓かれた新たな地平を踏まえ、7・15自衛隊沖縄派兵阻止九州現地闘争を右翼機動隊の暴虐極まりない反革命弾圧をはねのけ貫徹したことを報告しておきたいと思います。

72年前半における「派兵阻止決戦」の勝利的前進を克ちとった我々は、現在今秋闘争の大爆発にむけた闘いの方向性を以下のように確認しています。第1には5・13神田武装遊撃戦、7・15九州現地闘争によって切り拓かれた沖縄階級戦線の地平を更に飛躍せしむることであり、第2には青行隊への弾圧粉碎、鉄塔防衛・来年3月「開港」阻止としてある三里塚闘争を実現することです。更に第3には無実の石川青年に対する「九月結審、11月死刑判決」をもつての攻撃を粉碎し、帝国主義の腐朽化としてある部落の完全解放を克ちとることであり、そして第4には予想される明大学費値上げに対する断固たる実力阻止闘争の貫徹です。我々は以上4点、沖縄—三里塚—部落—学費を真紅の炎で貫き、今秋「派兵阻止決戦」の大爆発を克ちとらんとしています。

東南アジアにむけた侵略反革命と国内における侵略反革命体制構築を何かなんでも実現せんとする日本帝国主義は、5・15沖縄返還を強行しつつも、全国各学園、職場、地域から巻き起こる真紅の叛乱に恐怖せざるをえません。火炎ビン立法制定にみられる革命的左翼圧殺の策動に、我々は敵権力の抱く恐怖の程をはっきりと確認することができると思います。

我々学生会中央執行委員会は敵権力によるいかなる弾圧、迫害にも屈服することなく、革命的左翼の旗印を高々と掲げ進撃せんことを全ての学友の前に明らかにしてゆきたいと思います。

沖縄—三里塚—部落—学費の闘いを有機的に結合せしめ、今秋「派兵阻止決戦」の大爆発を克ちとること！この闘いに全ての明大の学友諸君が決起されんことを強く訴え、最後に駿台祭の圧倒的成功を祈りつつ、我々学生会中央執行委員会からのアピールを終えていききたいと思います。

沖縄の反革命的統合粉碎！

自衛隊沖縄派兵阻止！

青行派への弾圧粉碎！鉄塔防衛！

来年「3月」開港阻止！

9月結審粉碎！11月死刑判決阻止！

無実の石川青年奪還！

明大学費値上げ阻止！

今秋「派兵阻止決戦」の大爆発を！